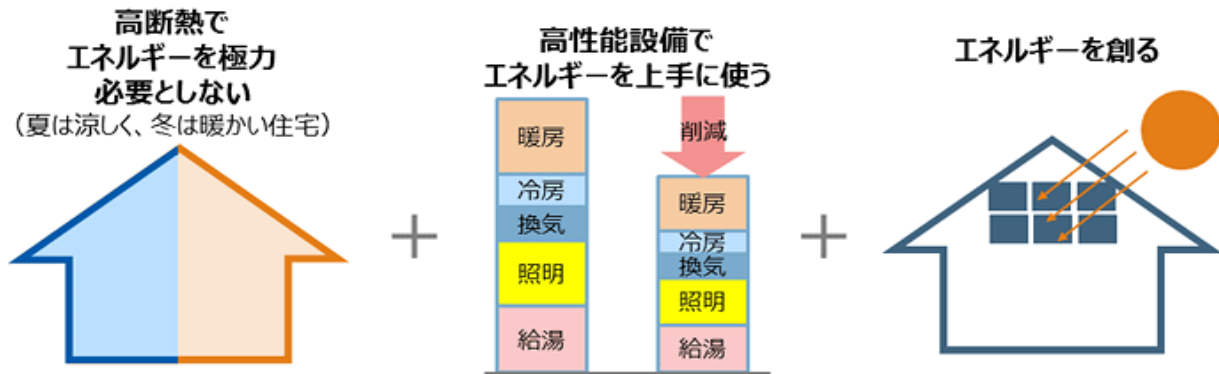


NOJIMA 「ZEH」への取り組み

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)とは

住まいの断熱性能を上げ、省エネ設備を導入し、さらに太陽光発電などで自らエネルギーを作ることにより、年間の一時消費エネルギーの収支をゼロにする住宅のことを指します。



我が国では「エネルギー基本計画」において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で、住宅の年間の一時消費エネルギーが正味(ネット)でゼロとなる住宅「ZEH」の実現を目指す」とする際さく目標を設定しています。

NOJIMAでは、2020年までのZEH普及率目標を以下のように設定し、ZEHの普及に努めます。

2016年度年間建築総数:30棟

NOJIMA 2020年までのZEH普及率目標

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2025年度
目標値	10%	20%	30%	50%	50%
実績値	0%	3%	0%	0%	

ZEHの周知・普及に向けた具体策

お客様に向けて、モデルハウスや完成見学会、パンフレット等でZEHへの取り組みや活動を積極的にPRします。住宅の性能向上、その効果などもわかりやすくご提案します。自社ホームページでZEH関連の取り組みを掲載し、地域社会に向けた情報発信をいたします。

ZEHのコストダウンに向けた具体策

ZEH仕様の標準化に仕組み、生産性の向上、一括発注によりコストダウンを図ります。外皮計算、一時消費エネルギー量計算を自社で完全実施し、コストダウンを図ります。

その他の取り組みなど

ZEH関連の研修会へ積極的に参加し、省エネ創エネの技術基準、知識を身に付けた社員育成を行います。ZEH基準の高性能な住まいを標準仕様化し、高断熱・省エネ・創エネ住宅を地域のお客様にご提案いたします。